

第5回王寺駅周辺再整備推進会議を開催しました（令和3年9月24日）

王寺町では、平成30年5月に策定した「王寺駅周辺地区まちづくり基本構想」に基づき、駅北エリアについては、防災機能の強化及び魅力の向上、駅南エリアについては、民間活力を活かした拠点機能の集約・向上など、基本構想の実現に向けて取り組む事業について検討を進めています。

令和3年9月24日に第5回王寺駅周辺再整備推進会議を開催し、以下のテーマについて意見交換を行いました。
 ※新型コロナウイルス感染拡大により近隣府県に緊急事態宣言が発令されていたため、WEB会議で開催しました。

テーマ 道路整備・まちづくり手法等について

事務局より、王寺駅北エリアの道路整備手法や規制・誘導方策等のイメージを提示し、参加者に意見を求めました。

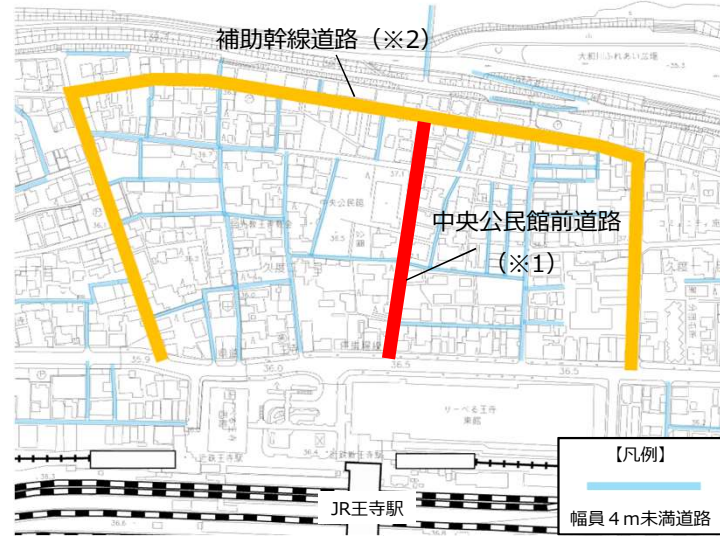
主な意見

<道路整備について>

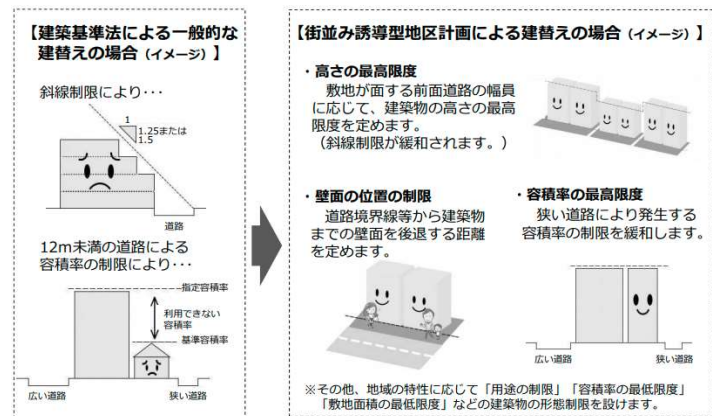
- 中央公民館前まで緊急車両がスムーズに進入できる道路整備が地区にとっての最優先事項で住民も望まれていること。まずは中央公民館前道路（※1）の整備、次に補助幹線道路（※2）の整備と二段階で進めるのが良い。
- 町の財政的にも区画整理事業が難しいという状況を踏まえると、街路事業（用地買収方式）または沿道整備街路事業のどちらかを選択することになる。
- 補助幹線道路の整備は長期的な事業になると思われるので、実際整備するときの町の財政状況や社会情勢、住民等の意見を踏まえ、事業手法については最適なものを選択すればよい。

<まちづくり手法について>

- 事務局より、地区内の狭隘道路（中央公民館前道路及び補助幹線道路以外の幅員4m未満の道路）解消に向けた地区計画及び駅前の王寺停車場線のにぎわい形成に向けた事業所等を誘導する地区計画の導入を提案
- 地区の防災力強化に向け、何年もかかるが住民による建替えと併せて道路拡幅していくのは良い手法と考える。
- 地区のにぎわい形成のためにも王寺停車場線に事業所等を誘導していくのは良い手法と考える。今後、中央公民館跡地整備することから誘導するエリアを中央公民館跡地まで広げることが望ましい。
- 地区計画を策定する際は、住民等の意向をしっかりと把握して進めていく必要がある。また、住民等とのイメージの共有が重要になる。
- 中央公民館跡地は当面の間、有事の際に緊急車両の活動拠点とし、中央公民館前道路の拡幅が進むまではオープンスペースにしておくことが望ましい。



防災機能の強化に向けた道路整備を検討



狭隘道路解消に向けた地区計画のイメージ
 （出典：東京都HP）



低層階に事業所等を誘導するイメージ